

ディプロマ・ポリシー		カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>本学科では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士（情報メディア学）の学位を授与します。</p>		<p>本学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、文理融合型の特色を活かし、「情報」を軸にしながら幅広い分野の知識や技能を修得できるという方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>カリキュラムの編成は、講義・実技を中心に知識・技能を習得し活用力を高める専門科目群と、主体性を養い、思考力・行動力を身につける実践的演習科目群を並立させ、相互にバランスよく補完させることによって、単なる机上の知識・技能ではなく、実際の問題解決に活かせる生きた知識・技能を習得できるように工夫します。</p> <p>専門科目は、下記の2つの分野で編成します。</p> <p>「情報力教育系」 ①情報活用科目群 ICT機器を操作して情報を利・活用する能力を高めることを目的に、コンピュータ、プログラミング、ネットワーク、マルチメディアなどに関連する科目を配置します。</p> <p>「生活力教育系」 ①生活行動力科目群 衣・食・住を基本とした人間の生活と情報化社会との関わりを理解することを目的に、感性を磨きながら、生涯に亘る生活全般を編集・設計・演出する力を養うための科目を配置します。</p> <p>②社会共創力科目群 グローバル化が進展する中、生涯に亘って社会の一員として自分のキャリアを形成し、自己実現を図ることができるよう、ビジネス全般を理解するための基礎科目や演習科目に加え、社会課題の認識とその解決に向けた対応力を身につけるための科目を配置します。</p>	<p>本学科は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能・意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>情報やマルチメディアの知識・技能を活かして情報化社会の健全な発展に貢献したいという意欲を持っている人物を求めます。</p> <p>具体的には次のような目標を持つ人を歓迎します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あふれる情報に振り回されず、情報の真の価値を判断する力を身につけたい。 ・データ分析能力を高め、情報化社会を生きぬく。 ・生活への深い洞察力と多様なメディアを使いこなす技能を習得したい。 ・自分の個性を大切に、クリエイティブな人生を実現したい。 ・幅広い教養と豊かな感性を身につけ、社会に貢献したい。 <p>そのため、本学科では、講義形式の授業だけでなく、アクティブラーニングやPBL型授業など、教員と学生、学生同士が議論や協働することを主体とした授業も多数用意しており、学生はあらゆる場面で知識を活用し思考する力を問われます。したがって、入学前に、文系・理系という狭い枠にとらわれず、情報科はもとより、国語、英語、地理歴史、公民のほか、数学、物理、化学、生物といった科目をできる限り幅広く履修し、確かな基礎知識を備えておくことが望まれます。この基礎知識は、入学後の専門分野の授業の内容を理解するためにも重要です。</p> <p>さらに入学後、何をすべきかということについて明確な目的意識を持っていなければなりません。授業の履修だけでなく、あらゆる機会を学びの場と捉え、さまざまな課外活動にも主体的に取り組む積極的な姿勢を持つ女性を求めます。</p>
1. 情報活用力	1-1	コンピュータ等のICT機器を活用して、適切な表現・方法で、情報を生成・加工・分析・伝達するための基本的な知識・技術を習得している。	
	1-2	情報を的確に分析して、事物の本質を理解できる思考力を習得している。	
	1-3	自己を適切に表現でき、他者や社会と良好な関係を築ける態度を習得している。	
2. 生活力	2-1	豊かな感性と幅広い教養を身につけ、生活の中で、時代の流れを洞察して最適な選択を行える行動力を身につけている。	
	2-2	情報を的確に捉え、変化するライフ・ステージに生涯に亘って適応できる態度を習得している。	
	2-3	社会の仕組みを理解し、社会的な課題の解決に主体的に参加し、他者との協働を通じて、社会の発展に貢献する態度を習得している。	
	2-4	生涯にわたって自分の社会的キャリアを開拓していく意欲と向上心を身につけている。	